

みんなでつくる

# Rの広場



## お客様の声

### ◆『消費税増税の駆け込み需要って、ホントに起きてるんですか?』

たまに聞かれる声です。質問というより「その緊急性を感じない私って大丈夫ですか?」的な意味でのご質問。明確にお答えしますが、そんなものありません。新聞やテレビのメディアが囁立っているだけです。もっとも最近では、さすがに囁立てることにも躊躇し出したのか、あまりこうした論調を聞かなくなりました。しかし、あるところには、駆け込み需要が存在しています。それは建売会社の「用地仕入れ」です。建売会社は、分譲住宅用地を仕入れて、建築し、販売するのが仕事ですから、実際の「販売段階」が増税の前後どちらかで影響をうけます。自ずと増税前の販売に間に合うように、土地の「仕込み」に力が入ります。ですから、今、住宅用地をお探しのお客様にとっての一番の競合相手は「建売会社」なんですね。



西区上小田井の氏神様

## 『星神社』



2012年の大晦日、皆さまはどんなふうにお過ごしでしたでしょうか? 思い思いの場所でカウントダウンを楽しまれた方も多くと思いますが、午前0時を待って初詣をされた方も多しんじゃないでしょうか?

今回は、弊社の地元、上小田井にある星神社での年越し風景をご紹介します。まず、星神社の由緒・歴史から。創建された年代は不明ですが、一説には9世紀後半には、すでにこの地に存在していたとか? 境内のすぐ南を流れる庄内川がたびたび氾濫するのは神様がお怒りになるからと考えられ、神様に祈り、怒りを鎮めるために創建されたと言われています。のちに中国から七夕の話が伝わり、庄内川を天の川に見立てて、牽牛星と織姫星を祀るようになったといわれています。ですから名称の「星」とは七夕の織姫、彦星にちなんだもので、地元には、川を挟んで両岸に暮らす恋人同士の悲恋の物語も語り伝えられています。

神社の鳥居前は、すぐ庄内川の堤防で、そこには都市景観保存樹にも指定されているムクノキの巨木があります。さて、そんな星神社。12月31日には、翌年に本厄を迎える男衆が朝から集まり、厄払いをするため年越しの準備に追われています。自分たちのお祓いを受けるのはもちろんですが、夜になって集ってくる町の方々のため、大提灯の設置などあらゆる設営を行います。夜になり、23時30分頃にもなれば、境内には70~80名くらいの町内の方々が集まってきます。

0時前にはカウントダウンが始まり、0時とともに男衆たちが威勢よく「明けましておめでとうございます!!!」と新年を告げます。初詣を終えた人たちは、男衆が振舞う枮酒をいただいたり、神社の方が用意くださっている甘酒を頂戴したりして、新年を迎えた余韻を楽しんで、しばらく境内は賑やかな喧騒に包まれます。ちなみに、この枮酒の「枮」を毎年貰ってコレクションしている方もいるそうです。

今年の年越しには、おそらく250名くらいの人出がありました。「村の鎮守」のような佇まいの氏神様に、これだけの方が参拝に来るのって、なかなかスゴイと思いませんか?

境内の喧騒から少し離れると、近所のお寺から響いてくる除夜の鐘の音が聞こえて、なんとも奥ゆかしい年越しの風情が味わえます。厄年の男衆たちは、この日朝まで篝火の番をします。今年なんかは特に冷え込みましたから、きっと大変だったでしょうね。でも十数年、あるいは20数年ぶりの再会を楽しむ、ちょっとした同窓会にもなる機会が、飽きることなく語りあって朝を迎えるんですけどね(笑)。

皆さまのお住まいの近くでも、こうした年越しの風景があるかもしれませんね。

地域での「年越し自慢」のお話し、お寄せいただけたら幸いです。

2013年巳年。皆さまにとって、より素晴らしい一年となりますように!



所在地 ■ 名古屋市西区上小田井1-172

